



### 研究目的

- 学生が主体的に地域コミュニティと関わるための手段を作ること
- 学生と地域コミュニティの継続的な連携を達成すること

### 活動内容

- 夏祭り(8月中旬)
- 夏休み子ども学習会(8月下旬)  
↳ 長嶺2町内のみ
- 冬休み子ども学習会(12月下旬)  
↳ 長嶺1町内・2町内各1回ずつ

### 夏祭り

- 概要
  - ・ 昨年の先輩方は参加者として夏祭りに参加  
→ 今年も運営側として夏祭りに参加
  - ・ 長嶺1町内×2町内×熊本県立大学の学生による合同夏祭り
  - ・ 今年も夏祭り開催

### 事前打ち合わせ・役割

- 打ち合わせ(3回)
  - ・ 打ち合わせ日時: 1町内自治会長と電話でやりとり
  - ・ 夏祭りの日時や各役割の決定等
- 運営側としての役割
  - ・ 前日準備
  - ・ 当日運営
  - ・ 後日片づけ

### 夏祭り 8月17日@長嶺公園

## 夏祭り 気づき



### ○良かった点

- ・ 地域の方々と交流を深めることができた
  - └ 企画から参加できた
  - 吹奏楽部の参加（ゼミ以外の学生の参加）
- ・ 学生が深く関わることができた
  - └ 司会進行等を任せてもらえた
  - （学生に対する期待値の高さの認知）

## 夏祭り 気づき

### ○課題点

└ 受け身ばかりで提案ができなかった

### [原因]

- ・ 指示待ちだった
- ・ 学生が関われる範囲がわからなかった



### [改善点]

- ・ ノウハウの引き継ぎ
- ・ 情報を共有する機会を増やす
  - └ “地域コミュニティ班”になった時点で顔合わせ
  - 年間通しての予定などを話し合う
- ・ 活動外の関わりを持つ

## 夏祭り 展望

### ○ステージ発表

└ 大学内にあるサークル

### ○出店

└ 学生のためのブースを作る

### ○司会

└ 大学生と町内会でコラボレーション



## 子ども学習会

### ○概要

- ・ 昨年の先輩方の「地域コミュニティと学生の関わりあいを持つためにできることは？」というテーマのもと、考案した取り組み
- ・ 子ども会、老人会、婦人会
- ・ 1町内での学習会の実施は初めて

## 事前打ち合わせ

### 〈1町内〉

- ・ 子ども会の方と電話やメールでの連絡
- ・ チラシのやり取り→自治会長を通して

### 〈2町内〉

- ・ 老人会長との電話やりとり
- ・ チラシのやり取り→直接受け渡し

## 事前準備（夏休み・冬休み共通）

- ・名札作り
- ・タイムスケジュールを考える
- ・当日の役割分担（受付・記録・配置etc）
- ・レクリエーション（冬休み2町内のみ）
- ・子ども会の方々の要望をしっかりと調査
- ・アンケート作成（子ども、保護者）

## 夏休み学習会（2町内のみ）

### 当日のタイムスケジュール&チラシ&写真



夏休み勉強会  
 熊本県立大学の仲間と、お兄さんお姉さんと一緒に勉強しよう！お菓子もあるよ！  
 日時： 8月21日（水） 13:30集合 13:00-15:30  
 会場： 2町内公民館  
 対象： 小学生  
 講師： 学生  
 記録係： 夏休みの記録（写真、習字、絵日記など）

〈当日の様子〉



## 冬休み学習会@2町内公民館



冬休み勉強会  
 熊本県立大学の仲間と、お兄さんお姉さんと一緒に勉強しよう！お菓子もあるよ！  
 日時： 12月26日（日） 13:30集合 14:00-16:00  
 会場： 2町内公民館  
 対象： 小学生  
 講師： 学生  
 記録係： 冬休みの記録（写真、習字、絵日記など）

〈当日の様子〉



## 冬休み学習会@1町内公民館



冬休み勉強会  
 熊本県立大学の仲間と、お兄さんお姉さんと一緒に勉強しよう！お菓子もあるよ！  
 日時： 12月26日（日） 13:30集合 14:00-16:00  
 会場： 1町内公民館  
 対象： 小学生  
 講師： 学生  
 記録係： 冬休みの記録（写真、習字、絵日記など）

〈当日の様子〉



## アンケート調査

### ○実施目的

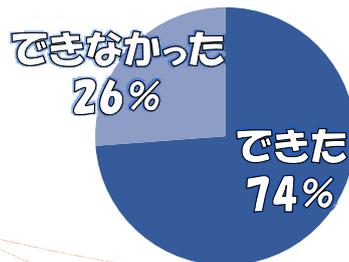
子どもたちの勉強の達成度、勉強会の感想・要望を調べ、次回の活動に活かすため。  
 また、保護者の意見を取り入れるため。

### ○人数

〈子ども〉1町内：27人 2町内：15人  
 〈保護者〉1町内：3人 2町内：3人

## アンケート

### 目標達成



## アンケート

### <感想>

- ・「楽しめた」というものが大半だったが、「楽しめなかった」という意見もあった
- ・「もっと勉強したかった」という意見

### <要望>

- ・料理やお菓子作り
- ・室内・室外でのレクリエーション
- ・勉強合宿

## 保護者

### 満足度

100%

- ・子どもたちの笑顔がたくさん見れた
- ・自宅学習よりもみんなで集まって学習をしたほうがはかどった

## アンケート結果を通して

### ○反省点

全員が楽しかったと答えた2町内に対して、1町内では楽しめなかった子どもがいた。

### ○原因

- ・席をくじで決め、友達同士で座れなかったこと
- ・宿題が終わってしまった子どもへの対処を考えていなかったこと

### ○改善点

- ・席のことについては話し合う（臨機応変に）
- ・子どもを退屈させない工夫
- ↳遊び感覚で解けるような問題を用意しておくなど

## アンケート結果を通して

### ○要望

- ・室外、室内でのレクリエーション
- ・勉強会の時間を長くしてほしい
- ・泊まり込みでの勉強をしたい

☆もっと勉強したい・大学生と遊びたいといった要望も考えると、勉強会の時間を延ばしたほうがよい。  
→10時~3時までの予定で昼休みを1時間ほどとれば勉強時間も延ばせて、他にできることも増える。  
☆泊まり込みでの勉強は、子供に何かあった時のことを考えると、学生だけの判断は難しい。

## 学習会 気づき

### ○良かった点

- ・各机でコミュニケーションがとれた  
↳コミュ班の雰囲気、机の割り振り
- ・様々な団体との連携  
↳広報の仕方
- ・複数回実施できた
- ・2年生への協力



## 学習会 気づき

### ○課題点

- ・宿題が終わった子へのフォロー

### [原因]

- ・予想できていなかった

### [改善点]

- ・遊び感覚の問題を用意しておく



## 学習会 展望

- 夏休みの学習会について
  - └交流メイン（冬休み学習会に向けて）
- 時間
  - └長くする
- 学生の人数を増やす
  - └教職の人等



## まとめ

- 継続性を確保するためには  
**システム作りが不可欠**
- マニュアルを作成  
→次世代がスムーズに動けるように

